

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案件番号	6	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	ネットワーク運用保守 一式	
契約締結日	平成29年6月30日	
契約の相手方の商号又は名称等	ネットワンシステムズ株式会社	
入札経緯及び結果	平成29年3月22日公告 平成29年5月15日入札書等締切 平成29年5月16日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	具体的な記載となるよう努め、また、契約期間を長くし参加業者の増加を図った。
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札から業務開始まで、46日間の準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	55日間の公告期間を確保した。
④公告周知方法の改善	○	官報及びホームページへの掲載並びに院内掲示を実施した。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	前年度辞退業者に対し、具体的に仕様をどのように変更すれば対応可能となるか、その場合の見積りはいくらか、又、それ以外の対応可能項目はそれぞれいくらで見積もり可能か等のアンケートを実施した。また、現契約業者及び新規問合せ業者にはヒアリングを実施した。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
センター内の各システムに関連する他契約との調整を図りながら、所管である医療情報部やコンサルティング会社等と調整の上、他社がより参加しやすい仕様に再度見直すことにより、複数社の参加を促すこととする。		
契約監視委員会のコメント		
センターによる改善の取り組み内容の結果を注視したい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
次回は、参加要件見直しの検討を行う等、法人における事後点検の結果講ずることとした措置を確実に実行して、一者応札が改善できるよう努める。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。